

退職後の私の様子

今西 平

(元スポーツウエルネス学科教員)

多くの教職員の方々に支えられ、私にとって立教大学の5年間は学び多き日々となりました。感謝申し上げます。教職員の方々だけでなく、学生たちとの関わりによって学んだこともたくさんあります。あっという間に過ぎましたが、充実した時間でした。そうは言いましても、2018年度は引き続き兼任講師として新座キャンパスには顔を出しますので、宜しくお願いします。

ところで、退職に際した「メッセージ」を執筆するように言われたものの、いざキーボードを前にしたら文章が出てこないで困っています。言いたい事が何も無いというわけではないのです。上述したように感謝の念でいっぱいなのですが、それを挙げていくのも慇懃無礼のようで気が引けます。

退職にあたってのメッセージというのも、なんだか遺言とか人生最後の日の日記みたいですね。実際、似たようなものかもしれません。むしろ私としては、「退職するんだからメッセージは残さなくていいんじゃないか」と思うタチです。なので、メッセージらしいものは書きません。どうかご了承ください。

でも、上述しましたように今回は完全な退職ではありません。兼任講師として今年もお世話になります。となれば、メッセージを書く意味もあるのかもしれません。

そんなわけで近況をお話することにします。

神戸から引っ越してきたのが5年前。住んでいるアパートは変えずに現在に至ります。いまだ関東生活には慣れないままですが、そろそろ慣れることに飽きてきたので、これが慣れるというものなのでしょう。

先日、近所にある馴染みの寿司屋で大将から熟成マグロというのを紹介され、食べさせてもらいました。これがすこぶる旨い。魚も新鮮だったら良いというわけじゃなくて、何事にも適切なタイミングと、各々に最適な調理法があるとのこと。人生に置き換えても同じことかもしれません。考えさせられますね。

今の私の仕事はというと、大学の兼任講師です。立教大学を含め関東周辺の複数の大学に通っていて、授業はどれも体育・スポーツ実技です。面白い偶然ですが、どの大学も理工学部を担当しています。「大学ごとで学生の特徴が現れて興味深いです」と言い

たいところですけど、実のところ大学ごとで学生の性質はそんなに違いはないと思っています。世間話として「〇〇大学の学生は社交性がありますねえ」などと話すこともあるんですけど、結局のところ、一人一人の学生と向き合えば個々人それぞれ違うし、可塑性も高い。平均値で話ができるものではない、というのが実感するところでしょうか。

現在の私の社会的身分は大学院生です。所属欄とか肩書のところには「大阪体育大学大学院博士後期課程」と書くことになります。なので、ときどき大阪に足を運んでいます。移動手段は新幹線か飛行機ですが、いずれも労力に差はありません。ただし、早めに予約できれば飛行機の方が割安です。大学が関西空港の近くにありますが、どちらかという飛行機の方が便利でしょうか（と思っていたら、先日、関西空港が台風で壊滅的被害を受けました）。

仕事柄も日本中の空港を利用してきましたが、関西空港が一番グルメだと思います。空港というスタイリッシュな空間で、あんなにも開き直ってソースを焦がした匂いを充満させているのは称賛に値します。

関西空港ではいつも自分用に「赤福」を買って帰るのが習慣なのですが、何が起きているのか、最近はこちらがすぐに売り切れています。19時をまわったらほぼ購入不可。どうしても欲しい場合は昼の便で帰らなきゃいけません。

ところで、先日、SNSを通じて関東に在住している高校の同級生たちとバーベキューをやりました。同窓会みたいなものです。そこに我が校のマドンナ（既に死語か?）も出席するというので、18年ぶりの再開が楽しみだったところでもあります。よく、「時の流れは残酷」などと言われますが、あれは特定の人たちには無関係ですね。綺麗なものはずっと綺麗です。そういう意味では残酷なのかもしれません。

ちなみに、再開したその彼女から言われたのですが、当時の私は「話しかけにくい人だった」とのこと。今もそうかも知れません。皆様におかれましては、私と学内外でお会いすることがありましたら、遠慮なくお声掛けください。愛想良く対応したいと思います。